

marina park city

西宮浜

マリナコミュニティ



第13回西宮浜の防災・減災を考える会が、西宮マリナパークシティ協議会防災部会と西宮浜マリナコミュニティの共催で、昨年12月7日に西宮浜義務教育学校西校舎で開催しました。

第1部は、熊本や能登の災害時、各地の避難所で活動した寺本弘伸さん（認定NPO法人日本災害救援ボランティアネットワーク）が、避難所運営についてスライドを使って講演しました。避難所では最初から土足厳禁にする、トイレでは紙は流さず別の場所へ捨てるなど、貴重なアドバイスを受けました。

第2部は、災害時に避難所となる西宮浜義務教育学校西校舎を見学しました。防災・減災を考える会の皆さんや同校校長の杉田二郎先生、マリナサポート（学校ボランティア）のメンバーが学校を案内しました。初めて学校に入る人や久しぶりに入る人も多く、皆さん熱心に見学して

避難所体験の義務教育学校を知りたいなら
西宮浜の防災・減災を考える会



避難所の教室を見学



スライドを使った講義

ました。「学校が避難所として使用できるのだと実感した」「備蓄品が思ったより少なかった」などの感想もあり、講座後のアンケートでは、皆さんの具体的な提案ができました。寺本さんは、「この学校はスペースも多く、比較的快適な避難所生活を送ることができるのでは」と語っていました。（西村）

小児科閉鎖のお知らせ

4月1日から、診療科目である小児科を閉鎖します。

問い合わせ

協和マリナホスピタル

〒662-0934 西宮市西宮浜4丁目15番1号

TEL:0798-32-1112



第3回防災フェスタ in 西宮浜

今回のテーマは「避難所体験」です。西宮浜義務教育学校を避難所に見立てて楽しく体験しましょう。

日時：3月1日（日）10：00～13：00

場所：西宮浜義務教育学校西校舎

内容：段ボールベッド組み立て体験、災害用トイレの組み立てと使い方、福祉体験、ペット防災講演、防災クイズ、模擬救護所、食料配布訓練など。パトカーや消防車も来るよ。

主催：西宮マリナパークシティ協議会防災部会西宮浜の防災・減災を考える会

問い合わせ：asaka.h104p@gmail.com

04

食後のおしゃべりも楽しいひととき

西宮浜ふれあい食事会「浜ランチ」

第2・第4月曜日 11時30分～受付開始

交流や食事を楽しむことを目的に、西宮浜でおおむね65歳以上の1人暮らしの人や高齢世帯を対象に開催している昼食会です。ボランティアによる手作りの食事を食べて心もおなかも満たされ、食後のおしゃべりも楽しいひとときとなっています。参加を希望する人は事前に連絡先まで電話してください。

【浜ランチ代表 山野下 みや子さん】

連絡先：0798-23-1140(西宮市社会福祉協議会 地域福祉第2課)



手作りの食事はとてもおいしいです！

05

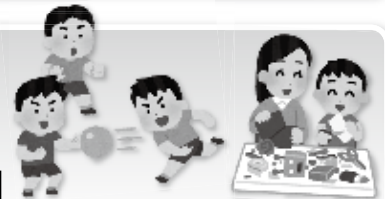
自由で安心できる遊び場・学び場を子どもたちに

放課後キッズ(放課後キッズルーム事業)

授業終了後～16時30分 (11～1月は16時まで)

西宮市と西宮市教育委員会が、平日の放課後などに、子どものたくましい成長につながる自由で安心できる遊び場・学びの場を提供することを目的とした事業です。コーディネーターと地域の見守りサポーターが、児童の見守りや声かけなどを行います。西宮浜義務教育学校に通う1～6年生であれば誰でも、授業終了後に直接参加できます。運動場、ランチルーム、体育館で活動しています。

同じ学校のMJO(マリナシティ・ジュニアジャズ・オーケストラ)やコールマリナ(コーラス)による演奏、香風高校ボランティアサークルによるイベントを行ってきました。今後も楽しいイベントを企画していきたいと思ひます。【放課後キッズコーディネーター 川島 由美子さん】



見守りサポーターと工作にチャレンジ

06

それぞれが楽しめる自由なつどい場

ハーバーカフェ

毎月第2、4火曜日 11～14時

コープマリナパークの集会室で開催。誰でも利用可能です。安価でコーヒーや紅茶を提供(お菓子付き)。1人でのんびりと友人とおしゃべり、好きな工作や手芸、読書と、それぞれが楽しめる自由なつどい場です。誰でも気軽に立ち寄れる温かい雰囲気づくりを目指しています。ハーバーカフェの日が皆さまやスタッフにとって楽しい日になりますように!! 【代表 丸尾 由美子さん】



皆さんの来店をお待ちしています

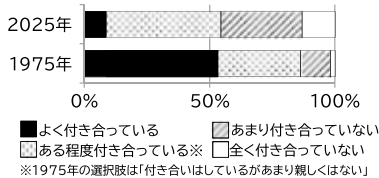
つどい場データファイル

近所付き合いは時代とともに変化

内閣府の調査では、近所付き合いの程度について「よく付き合っている」「ある程度付き合っている」の割合は低下しています。「よく付き合っている」が激減する一方で、「ある程度付き合っている」は増えています。密接な付き合いから適度な距離感を持った付き合いに変わっているようです。

地域における付き合いの程度

出典：内閣府世論調査「社会意識に関する世論調査」



編集後記

年末年始に取材協力いただいた皆さまに感謝です<(_)>

普段の緩いつながりが地域を支え、強くすると思ひます。MJOの存続も気になります。【木戸】

西宮浜の吹奏楽、子どもたちの音楽の場を支えてくれる人を募集中!

地域の行事やつどい場を彩ってきた西宮浜義務教育学校の吹奏楽部「MJO」が存続を検討しています。市は今年8月末を区切りとして部活動を地域クラブ活動「プレみや」へ移行し、地域へ展開する方向です。MJOはその受け入れ先が決まっています。児童・生徒だけでなく、音楽を愛する地域の皆さまと共に演奏できるような持続可能な運営のあり方を模索中です。「力になりたい」という思ひのある人は、ぜひ、学校までご連絡ください。連絡先：0798-32-0260(西宮浜義務教育学校 東校舎)



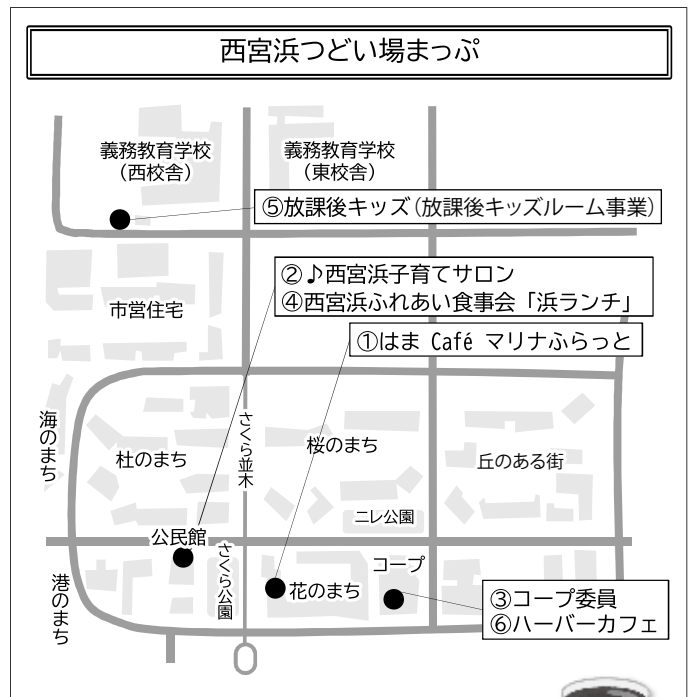
<https://www.nishi.or.jp/bunka/tiikiclub/puremiya/puremiya.html>

ゆるくつながるほどよい関係

つどい場特集

近年、災害時の共助や日常の見守り、孤立・孤独の防止、多世代交流による活性化など、さまざまな観点でつどい場の必要性が述べられています。厚生労働省の「通いの場」や社会福祉協議会の「ふれあい・いきいきサロン」など、コミュニケーションの場所についても整備が求められています。

西宮浜にも高齢者や子どもたち、子育て世帯など、いろいろな人を対象にした場所がたくさんあります。今回の特集では、そんな「つどい場」を紹介します。



01

1杯のコーヒーから始まるつながり

はま Café マリナふらっと

月・水・木・土曜日 10~16時

令和2年4月のオープン予定が、コロナ禍の緊急事態宣言で余儀なく延期。同年7月からの本格始動となり、今では年間延べ6000人も人が訪れるつどい場になりました。

コーヒー1杯から始まる「人とのつながり」を大切にしています。来店者への積極的な声かけ、姿を見かけない人の近況を常連さんと気遣い合うなど、地域全体で緩やかに見守り合う輪が広がっています。

今後は、食事メニューの充実も検討中。つどい場としての夢は尽きません。1人でも、夫婦でも、気軽にお立ち寄りください。

[ふらっと運営責任者 木村 勇一さん]



地域住民で結成した音楽グループがイベントで演奏



02

子育てパパ・ママのつどい場

♪西宮浜子育てサロン

第2・4木曜日 10時30分~11時45分

用意しているおもちゃで子どもを遊ばせながら、ママ、パパたちはおしゃべりして情報交換したり、のんびり過ごしたり。スタッフも一緒に遊んだり、おしゃべりしたり、温かくて和やかな居場所です。気軽に参加してください。

[代表 加藤 久美子さん]



暖かい日差しの中、広々とした室内で和気あいあいとした時間を過ごしています！

03

あなたのやってみたいをカタチにします

コープ委員

随時受付

「学んで・伝えて・つながって」をコンセプトに、あなたの「やってみたい」をコープこうべがサポートします。収穫体験をしてみたい、子どもに普段できないような体験をさせたい、毎日に役立つ知識やスキルを身に付けたいなど、さまざまな活動をサポートします。皆さんの参加が地域貢献につながります。あなたの「やってみたい」をお待ちしています。

[コープマリナパーク店 川畑 成美さん]



兵庫県災害対策センターなどへのバス研修

エコファームで収穫体験



西宮浜のひとつ(33)

池野 吉晴さん

(港のまち)



西宮浜での生活は人生劇場
人に優しく笑顔の絶えないまち

私は、港のまちに平成17(2005)年から住み始め、気が付けば20年の年月がたち、4人家族で暮らしています。振り返るとこの場所は、私にとって「住まい」であると同様に「人生そのもの」だったように思います。

今、理事長として責任ある立場を預かりながら、一方で親として子育てにも向き合ってきました。忙しさに追われ、思うように時間を使えなかった日もありましたが、このまちと皆さんに支えられて、子どもたちは大人になり、私も少しずつ成長してきたと思います。喜びも、迷いも、後悔も含めて、それら全てが、人

としての厚みや他人を思いやる気持ち、このまちで学ばせてくれたように感じています。

若い頃、私は生徒に慕われる体育教師になるのが夢でした。そして今は、家族を大切に、楽しく死ぬまで元気に格好良く生きたいと思い、毎日を過ごしています。また、今は家族を笑わせることに夢中にもなっています。

西宮マリナパークは、ただ建物が並ぶ場所ではありません。人が出会い、別れ、支え合い、それぞれの人生を重ねていく「舞台」だと思っています。子どもの数が減っていますが、この西宮マリナパークが、子どもの声をもっと聞こえてくる場所になると良いなと思います。

活気があり、思いやりの気持ち、大切に、人に優しい西宮浜をこれからも大切に、高齢者や子どもが住みやすく笑顔が絶えない場所であり続けていければ良いです。

これからも、このまちが次の世代にとっても、人生を豊かにしてくれる場所であることを願います。

ひかりのツリー

阪神・淡路大震災から30年となった昨年11月29日、海のまちでは28回目のひかりのツリーが点灯しました。

震災30年、28回目の点灯ひかりつながる希望の明日へ
ドリップコーヒーチーム「ORIGIN」、住民が店主のゲームや飲み物コーナーが出店。カウンタダウンでは『故郷』の合唱を披露しました。



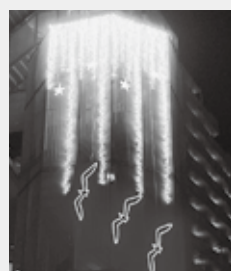
海のまちコミュニティ委員会の皆さん



『故郷』を合唱



メインツリー点灯



海のまちシンボルマークのカモメ3羽



子どもたちの集合写真



キッチンカー(左)とドリップコーヒーチーム「ORIGIN」

第10回 西宮浜さくら祭

日時：4月5日(日) 10:00~15:00
場所：さくら公園(西宮浜公民館 東側) 西宮市西宮浜4丁目13付近
最寄りバス停：阪神バス「マリナパーク南」下車1分
内容：ステージイベント、キッチンカー、飲食ブース、ゲームなど
主催：西宮マリナパークシティ協議会

詳細はちらしをご覧ください

